

「読むこと・書くこと」に見られた課題

「書くこと」に見られた課題

第2学年

4 (4)②1・2
「自分の考えの形成・記述」
 「読むこと」と「書くこと」の2つの領域を問う設問です。「1」の観点では、【資料1】と【資料2】で共通して述べられる「上達の方法」を、共通部分に着目して読み取れず、それぞれを分けて解答している誤答が多く見られました。「2」の観点では、【資料】の内容に絡めた具体例を述べず、一般化された意見を述べている誤答が多く見られました。
<誤答例>
 ●資料1は…。資料2は…。
 ●私はよく恥をかくことがあるが、それが忘れられない体験となった。

4
 次の「資料1」、「資料2」を読んで、あとの(1)～(4)に答えなさい。
 「資料1」と「資料2」で述べられている意見を、次のようにまとめました。あとの①、②に答えなさい。
 ② 上達するためにはどのようにすればよいですか。身近な具体例を挙げて、次の条件に従って書きなさい。
 条件1 二段落構成にし、七行以上九行以内で書くこと。
 条件2 一段落目には、「資料1」、「資料2」で共通して述べられている「上達の方法」を書くこと。
 条件3 二段落目には、本文中には書かれていない、自分にとって身近な具体例を書くこと。

1 正答率	43.1%
無解答率	22.9%
2 正答率	34.4%
無解答率	25.3%

2 (3)①
「記述」
 【資料3】を使い、理由を記述することはできていますが、それが【資料2】から分かるどの事実の理由に当たるのか、関連付けが曖昧である誤答、もしくは、【資料2】自体に触れていない誤答が多く見られました。
<誤答例>
 一年生は、初めての音楽祭で選曲などに時間がかかり、あまり練習できなかったと思われれます。二年生は…

正答率	52.5%
無解答率	12.6%

チャレンジ確認シート
 「書くこと」 H24A⑤2
 H24B①3 H24B②3
 H25A③2 H25B③3
 H27B②3 H28B①3
 H29B②3 H30A②2
 H30B①3
 「読むこと」 H26B①2

マスター問題集 中2 ⑩・⑪・⑫・⑬

2
 きくくに中学校の全校集会で、もうすぐ開催される音楽祭について文化委員長から話がありました。次の「文化委員長の話」を読んで、あとの(1)～(3)に答えなさい。
 (3) アンケート結果を学年別に集計した「資料2」と、改善につながるため昨年のアンケートから否定的な意見を取り出した「資料3」が、集会の後に配られました。「文化委員長の話」を聞いたあなたは、「資料2」と「資料3」を活用して、音楽祭の取り組みを改善する方法を考え、「提案書」として文化委員会に提出したいと考えています。
 このことについて、あとの①、②に答えなさい。
 ① 「資料2」から分かること、そのような結果になった理由を、「資料3」と関連付けて考えて書きなさい。



ポイント
 情報を関連付けて表現する力は、これから求められる力です。

どちらも、複数の資料を扱う設問です。共通点や相違点等を明らかにすることで複数の情報を正確に理解すること、相手や目的に応じて情報を取捨選択したり関連付けたりして、説明する内容を適切かつ効果的に表現することが求められます。また、情報に即して、自分の考えをもつ授業を構成する必要があります。

「読むこと(説明的な文章)」に見られた課題

第1学年

4 (3)
「文章の解釈」
 叙述にない具体例を自分で挙げて答えている誤答や、既にまとめられている、目的やサービスの内容を答えている誤答が多く見られました。第4段落に戻り該当する箇所を探すことができなかったと思われる。
<誤答例>
 ●悪口を書いてしまって…
 ●短い言葉で自分の近況を伝えてしまう…

正答率	16.6%
無解答率	9.3%

ポイント
 本県は選択形式の問題に対して課題が見られます。この形式の問題には、叙述を根拠にして細部まで読み取る力が必要になります。指導の際には、「①必ず叙述から根拠を見つけること」「②叙述にないもの、間違いを消去すること」を伝えましょう。文学的な文章において選択形式で問われた場合も、心情より先に事実関係(出来事の順序等)に目を向け、根拠として見つけるよう指導しましょう。

チャレンジ確認シート
 H24A⑥1・2 H25A⑤2 H26B②1
 H27A⑥1 H27B②1・2 H28A⑥1
 H28B①1 H28B②2
 H29A④1 H30A⑤2
 H30B①1

4
 次の文章を読んで、あとの(1)～(3)に答えなさい。
 (2) 文章中で述べられている「メール」の特徴として当てはまらないものを、次の1～4の中から一つ選び、その番号を書きなさい。
 1 受け取る相手しか内容を読めないが、転送すれば多くの人
 が文章や文字を見ることが出来る。
 2 絵文字や記号は、声や表情、身ぶりほどには気持ちを伝えることは難しく、誤解を生んでしまうことがある。
 3 特定のの人に内容を伝える手段なので、相手をよく知っているため気軽にやり取りすることが出来る。
 4 親しみをこめて返事を書いたつもりでも、文字しかないの
 で冷たく感じられたように感じる人もいる。

マスター問題集 中1 ⑬・⑭・⑮・⑯

ポイント
 説明的な文章の授業では、「文型」「問題提起・主張」「問い・答え」「事例」「意見・理由・事実」等を学習していきます。この学習が教材文の内容理解にとどまるのではなく、文章の論理構造の読み方の理解に到達するように指導することが重要です。何と何が対比されているのか、この段落はどういう役割なのか、いくつの事例が挙げられているのか、これらの視点を構造理解へとつなげていく授業を構成しましょう。

4 (2)
「文章の解釈」
 正答は「4」ですが、「1」と「3」の誤答が多く見られました。当てはまらないものを選択する問題で、「4」は「文字しかない」の部分が誤りになります。メールは文字しかないのではなく絵文字や記号もあり、文章中には「文字だけ読む」という叙述はあるものの、「文字しかない」という叙述はありません。

第2学年

正答率 36.5% 無解答率 9.7%

4 (4)①

「文章の解釈」

完答問題で、イの正答率の方が低い結果となりました。【資料1】と【資料2】が共通して述べている「物事の上達には恥ずかしがらずに人前に出ることだ」という内容を、読み取れていない、もしくは的確に表す部分を抜き出せていない誤答、設問の「抜き出して」の指示を読み取れていない誤答が見られました。

＜誤答例＞

- ア ●まことに奥ゆかしいことだろう
- イ ●無駄という場合がずいぶんとある
- 経験の密度が濃いので忘れない

① 空欄 ア、イ に入る適切な言葉や、十四字以上十七字以内で、アは【資料1】から、イは【資料2】から、それぞれ抜き出して書きなさい。

【資料1】では、「上達してから人前に出るのがよいと考えているは、ア」と述べられています。また、【資料2】の筆者は、「恥ずかしがることは、イ(こと)になる」と述べています。

(4) 4

正答率 22.3% 無解答率 7.1%

3 (3)

「文章の解釈」

一つの行動に複数の意味が込められており、その内容を文脈に即して読み取る設問です。「その気持ちを書きなさい。」という設問に対し、「～気持ち。」「～ほしい。」等の気持ちを表す文末で答えられていない誤答、解答上必要である「急に」「突然」等の修飾語のない誤答が多く見られました。

(3) 3
次の文章を読んで、あとの(1)～(4)に答えなさい。
線部B「指切りげんまんをした」について、この「指切りげんまん」では「ふくちゃんのお秘密を誰にも話さない」という約束を交わしていますが、ここには「僕」のもう一つの気持ちが込められています。その気持ちを書きなさい。

マスター問題集 中2 ⑧・⑭・⑮・⑯

ポイント

説明的な文章では、伝えたい内容を様々な表現で「言いかえ」ながら、説明を行っていきます。「つまり(抽象化)」や「具体的に言うと、例えば(具体化)」といった言葉をキーワードにして、この「言いかえ」している箇所を整理することが、文章の構造や筆者の主張を読み取る上で大変重要です。一見難しそうな文章でも、「筆者の主張」と主張を説明、証明するための「実験結果や事例」が説明的な文章の中身となっています。論理をたどる授業を構成しましょう。

文学的な文章の指導においては、「この場面で、登場人物はどういう気持ちだったか」を問うのではなく、「この場面で読み取れる気持ち」が「どのような行動」や「どのような表現」から読み取れるかを問う、叙述に着目した発問を意識して授業を構成しましょう。そうすることで、自然と修飾語にも着目することになります。

チャレンジ確認シート(2年)
H24B②3 H25A②2
H25B①2 H26A⑤2 H30A⑤1

マスター問題集 中1 ⑪・⑫・⑬

チャレンジ確認シート(1年)
H24A③1 H24B③2
H25A②1 H25B②1
H26A③1 H27A③2
H28B③1 H29A⑥
H29B①2 H30A③2
H30B③1



国語科の授業改善に向けて

教材の「内容」を教えるのではなく
教材で「力」を育てる

力とは
☆指導事項=付けたい力

- 教材に適した指導事項を選んでいるか。
- 到達すべき生徒の姿を具体的に設定しているか(目標に準拠した評価)。

- 3年間を見通して、3領域1事項の指導を系統性を踏まえて計画的に配置しているか。
- 1教材・1時間で指導すべき指導事項を精選しているか。
- 生徒の実態に応じて、指導事項の重点化や既習事項の復習を行っているか。

育てるために
☆効果的な言語活動を設定する

- 言語活動は思考・判断・表現を行う問題解決的な学習になっているか。
- 言語活動は当該学年の指導事項を学ぶためのものになっているか。

授業改善の三つの視点

- 〈主体的な学びの視点〉
 - 説明したり評価したりする学習活動
 - 学習の見通しを立てたり、振り返ったりする学習活動
- 〈対話的な学びの視点〉
 - 自分の考えを他者と比較する学習活動
 - ・共通点や相違点を明らかにすること
 - ・捉え方の違いやその理由などについて考えること
- 〈深い学びの視点〉
 - 「言葉」に着目する学習活動

- 文章や資料から読み取った内容に対して、条件のもとで自分の考えを書く授業
- 叙述から、判断の根拠を求める授業
- 詳細ではなく全体を捉える授業
- 他に活用できるよう、授業での学びを知識として再認識する授業
- 表現の仕方、文章構成の仕方、表現の効果等を読み取ったり、分析したり、評価したりする授業

「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」に見られた課題

マスター問題集 中1⑤ 中2⑤

第2学年

4 (1)

「歴史的仮名遣い」
現代仮名遣いと現代語訳を混同している誤答が多く見られました。

＜誤答例＞

- いうけれど
- いうようではあるが

正答率 28.8% 無解答率 3.1%

(1) 4
次の【資料1】、【資料2】を読んで、あとの(1)～(4)に答えなさい。
線部A「言ふれど」を現代仮名遣いに直し、全てひらがなで書きなさい。

ポイント

「歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す」ことは、本県だけでなく、全国的にも課題の見られる内容です。音読させたり音読を聞かせたりして、古文特有のリズムを味わわせながら文語のきまりを指導すること、「現代仮名遣い」「現代語訳」といった用語をしっかり定着させることが大事です。



チャレンジ確認シート
H24A⑦7 H25A⑧7(2)
H26A⑧5(1) H28A⑨7(1)
H29A⑨7(1) H30A⑧6(2)